

平成 28 年 11 月 北秋田市長記者会見

平成 28 年 11 月 22 日（火）13 時 30 分

市役所本庁舎 大会議室

1. 平成 28 年北秋田市議会 12 月定例会について・・・資料 1
2. 辻堂駅 100 周年記念イベントへの参加について・・・資料 2
3. 市街地循環バス実証運行について・・・資料 3

その他

- ・ 12 月の行事予定

1. 平成28年北秋田市議会12月定例会について

本日、平成28年北秋田市議会12月定例会を12月1日に招集することといたしました。

今定例会には、「北秋田市市税条例等の一部を改正する条例の制定について」をはじめとする条例案が11件、補正予算案が16件、「北秋田市打当温泉マタギの湯の指定管理者の指定について」などの単行議案が6件、報告3件の計36件の提案を行うことといたしております。

概要につきましては、本で行われました議会運営委員会において総務部長から説明をさせておりますが、特に一般会計補正予算案について説明させていただきますと、既定の予算額に2億2千983万9千円を追加して、総額を254億6千998万7千円とすることとしたものであります。

歳出の主なものといたしましては、

○秋田北鷹高等学校 女子全国高等学校駅伝競走大会出場補助金として、
100 万円

○北秋田市おもてなし宿泊支援事業補助金として、
1,000 万円

○森吉県立自然公園施設等整備費負担金として、
1,284 万円

○公立フリースクールを核とした移住定住促進事業として、
687 万 9 千円

○北秋田市民ふれあいプラザ「コムコム」利用者活動支援事業として、
105 万 1 千円

などを計上しております。

2. 辻堂駅100周年記念イベントへの参加について

11月27日（日）、神奈川県藤沢市のJR東海道線辻堂駅開設100周年を祝う記念イベントに浜辺の歌音楽館少年少女合唱団が出演します。

JR辻堂駅に程近い辻堂海岸は、「浜辺の歌」の作詞者である「林古溪」が幼少期に訪れ、「浜辺の歌」の歌詞の原風景となった場所と言われておりまして、今年開設100周年を迎える辻堂駅の発車ベルを「浜辺の歌」にしようという地元の方々の署名活動により、ちょうど100年目となります12月1日の始発電車より使用されることが決まっています。

「浜辺の歌」のメロディーといえば、秋田内陸縦貫鉄道の米内沢駅の到着予告音にも使われていますが、郷土の誇る作曲家「成田為三先生」の代表曲が遠い湘南の地で流れることは、大変嬉しく、そして、誇らしく感じているところであります。

今回、この「浜辺の歌」を縁として、「100周年を祝う記念イベントに作曲家成田先生の出身地から合唱団を」という声があり、長く藤沢市に暮らし、故郷秋田と藤沢市の交流に尽力されている男鹿市在住の「加藤真一さん」という方の橋渡しにより、少年少女合唱団が出演することになったものです。

当日は、午前11時より「浜辺の歌コンチェルト」と題して、成田先生の代表作「かなりや」や「赤い鳥小鳥」、「秋田県民歌」などを披露するとともに、藤沢市の「すずかけ児童合唱団」との「浜辺の歌」合同合唱を行う予定となっておりますほか、私も現地でお祝いの挨拶を行いますことから、先生の作品や出身地であります北秋田市を大いにアピールしてまいりたいと考えております。

3. 市街地循環バス実証運行について

広報11月号でもお知らせしておりますが、中心市街地における新たな公共交通需要や路線の妥当性などを調査するため、市街地循環バスの実証運行を12月1日から28日までの約1ヶ月間実施いたします。

運行経路は配付のチラシのとおりですが、北秋田市民ふれあいプラザ「コムコム」を起点として、鷹巣地区の主要な商業施設、医療施設、駅や公共施設などを経由し、終点のコムコムまで、一周約10キロ、30分程度のコースとなっています。

運行便数は10時から15時までの1時間おきに1日6便を運行し、運賃につきましては、大人一回160円としております。

運行期間中はアンケート調査をはじめ市民の皆様から様々なご意見をいただき、利用者の皆様のニーズや運行内容の不具合などを検証しながら、本格運行の実現が可能かどうか検討してまいりたいと考えておりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。